

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

再生・新生・共生

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

ロータリーを楽しもう！
夢と誇りをもって



イマジン
ロータリー

2022-2023年度

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

第2560地区ガバナー 高橋 秀樹

高田ロータリー会長 高橋 正彦

幹事 飯塚 宏佳

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：

伴 長門・齋藤俊幸・藤林陽三・出澤英則

第 14 回例会 10 月 28 日(金)

No.14

会長挨拶

●高橋正彦



皆さんこんにちは。

先週土曜日の IM に多くの会員の皆様に参加とご協力を頂き、無事に終了することができました。ありがとうございました。

帰り際に、多くの方から「さすが高田クラブですね」と、お褒めの言葉を頂きました。皆様も多くの方と友好を深めることができましたでしょうか。

なお、明日は友好クラブ清水ロータリーの 70 周年式典に多くの会員の皆様と参加してきます。お祝いをし、おおいに楽しんで友好を深めてきたいと思います。

さて、ここ数日朝晩寒くなりました。そして妙高山麓は紅葉が真っ盛りで見ごろです。先日水曜日にゴルフ同好会のゴルフコンペで、松ヶ峰カントリーに行ってきました。晴天に恵まれ妙高山を眺めると妙高山から火打にかけて山頂は白い雪景色、その下は紅葉が広がり見事な景色でした。今年は寒暖の差が激しくて紅葉が綺麗だそうです。ぜひ皆様も紅葉を見にいろいろな所へ足を運ばれてはいかがでしょうか。

本日の卓話は、J-ホールディングス・柿崎総合開発の代表取締役 田知花康彦様です。演題は、J-ホールディングス株式会社の現状と今後です。ご清聴お願いします。

出席報告

出席率 97.87%

メイクアップ

大谷光夫君・本山秀樹君・高橋正彦君・中田 正君・飯塚宏佳君・遠藤 巖君・羽深耕時君・福田 聖君・原野聖子君・橋詰敏一君・林 泰成君・石倉 悟君・川上裕一君・小池猛紀君・高坂光一君・牧野章一君・嶺村 武君・箕輪賢一君・大島 誠君・佐藤勝則君・佐藤憲二君・霜村 浩君・鈴木陽一君・高橋俊宣君・高橋孫左衛門君・山田 守君・吉原耕一君

：10/22 第 7 分区 IM

ニコニコBOX

本山秀樹君：10 月 22 日に開催された第 7 分区 IM 本

大会では、ホストクラブとしてご協力をいただきありがとうございました。お蔭様で素晴らしい大会になりました。また 11 月 1 日からの任期で上越商工会議所副会頭を拝命しました。宜しく申し上げます。

大島 誠君：この度上越商工会議所副会頭を拝命いたしました。微力ですが精一杯務めさせていただきます。橋詰敏一君：IM 記念ゴルフ大会において、栄えある BB 賞をいただきました。これからも精進してまいります。

細野 仁君：葬儀参列のお礼

セレモニー

ポールハリスフェロー表彰：福田 聖君、高坂光一君
中田 IM 実行委員長：IM の御礼

会員インフォメーション

大島 誠君：清水 RC 周年式典参加者の皆様へ

委員会報告

IM 実行委員会：本日と明日のスケジュールについて
大島 誠君：清水 RC70 周年式典について

幹事報告

配布物：会報No.13、2022-23 年度現況報告書
報告：赤い羽根共同募金、11/4 は祝日振替休会日

第7分区 IM が開催されました

10月22日、当クラブがホストクラブとなる第7分区 IM がデュオ・セレソにて開催されました。



卓話

J ホールディングス株式会社の現状と今後



J -ホールディングス株式会社/柿崎総合開発株式会社
代表取締役 田知花 康彦 様

①設立

平成 25 年 9 月 第三セクター7社の持ち株会社
目的 7社のスケールメリット

事業会社の経営改善と損益構造の改善

目標

- ア、広報・営業の一元化による販売力の強化
- イ、共同仕入れなどによる経費削減
- ウ、人員流動化による人件費削減
- エ、外部 CEO 招聘による経営体制の強化
- オ、経営改善の進まない法人の廃止

②経緯

- ・新しい手法に着手→事業会社の損益構造は好転せず→各社の黒字化に重点→各社の自主性・独自性の発揮を優先
- ・設立から4年→JHDの資金減少→JHDの維持が困難→事業会社から経営指導料徴収→事業会社の負担増
- ・上越市「第三セクター等に対する関与方針」JHD 事業会社の民営化や解散などの整理がつき、持株会社としての必要性がなくなった段階で解散を検討する。
- ・上越市の評価 以下について JHD は一定の役割を果たした
(株)キュービットバレイ・三和振興(株)が経営悪化による指定管理辞退
(株)ゆめ企画名立を民間に事業譲渡

③現状

- ・上越市 公の施設適正配置計画
→施設の方向性 存廃・用途変更
- ・指定管理制度 随時契約 3年間→公募
- ・サウンディング調査 今後の施設の利活用の方向性を決定する
公費負担削減
地域に利益を生み出す施設に転換を図る為、民営化への移行が最良

- 地域 少子高齢化、13区旧町村
- 市場 生活の変化、コロナ、光熱水費高騰、原価高騰→利用料金設定と条例
- 施設 老朽化・大規模改修の必要性→施設改修は行政の範疇

課題

- ・旧町村をベースとした経営から脱却できない
- ・HD 体制維持の仕組みなし。HD は経費削減の具体策なし
- ・経営規模縮小→HD 機能の発揮や効果の享受、親会社への経費負担増
- ・緩い第三セクターの体質→責任所在が不明確→数値目標と管理→改善施策なし
- ・チェック機能なし→取締役会、行政
コロナ禍による経営環境悪化
- ・経費縮減→やらない事がベター→現状縮小

④方向性

- ・事業会社 1社に吸収合併→事業会社存続→JHD 解散
- ・経営判断一元化→スピード、レベル
- ・経理総務業務の本社一元化→税理士、社労士委託業務内製化、事務ソフト統一
- ・DX を活用した業務改善と人員削減→JHD 人員整理
- ・マーケット拡大→施設の役割特化→集客集中

↓
お客様ご満足を最大に考える
施設の在り方を自らの手で提案
行政として必要と判断した公の施設の管理業務を主体に、役割はある